

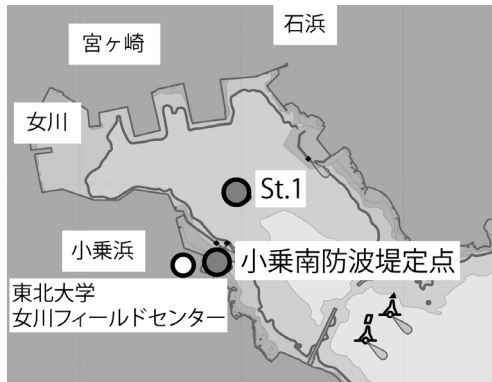
週刊 女川湾海況速報 (No.39)

発行：東北大学女川フィールドセンター

東北大学マリンサイエンス復興支援室

4 月 15 日から 19 日の小乗南防波堤定点と St.1 の海洋観測情報

観測点



小乗南防波堤定点の結果

①水温・塩分：先週と比較して水温は全層で上昇し、6～7℃台を示した。経時的には 17 日まで全層で上昇した後、表層（0m）では 18 日に一旦下降し、底層（6m）では 19 日まで 7.4℃を維持。塩分は先週と比較して表層で上昇したが、底層では下降。経時的には 16 日と 18 日に全層で下降。

水深 [m]	4月15日 (月)	4月16日 (火)	4月17日 (水)	4月18日 (木)	4月19日 (金)
0	6.9 (33.6)	7.2 (33.1)	7.8 (33.5)	7.4 (31.7)	7.6 (32.1)
6	6.6 (33.5)	6.9 (33.3)	7.4 (33.3)	7.4 (32.0)	7.4 (32.7)

水温の単位は℃。カッコ内の塩分の単位は PSU (実用塩分単位)。

*15 日と 17 日は水深 5m のデータを使用。

②濁度：先週と比較して全層で下降。経時的には 16 日に全層で下降し、18 日には表層でのみ下降。(単位は FTU)

水深 [m]	4月15日 (月)	4月16日 (火)	4月17日 (水)	4月18日 (木)	4月19日 (金)
0	1.0	0.9	0.9	0.6	1.0
6	1.2	0.9	1.1	1.4	1.3

③溶存酸素：先週と比較して全層で上昇し、10～13mg/l 台を示した。経時的にも全層で徐々に上昇し、19 日には 13mg/l 以上を示した。

水深 [m]	4月15日 (月)	4月16日 (火)	4月17日 (水)	4月18日 (木)	4月19日 (金)
0	10.4	11.1	12.1	12.5	13.3
6	10.2	11.2	12.2	12.6	13.0

単位は mg/l。水産用水基準（水産動植物が正常に生息および繁殖ができる値）：4.3mg/l 以上。

St.1 の結果

水温、塩分はそれぞれ 6.3～7.4℃、31.7～33.4PSU の範囲にあり、底層（20m）付近には外洋水の影響が及んでいたと推定。濁度は 0.6～2.0FTU の範囲にあり、底層で最大。溶存酸素は 11.5～13.0mg/l の範囲にあり、底層で最小。

4 月 18 日

水深 [m]	水温 [℃]	塩分 [PSU]	濁度 [FTU]	溶存酸素 [mg/l]
0	7.4	31.7	0.6	12.9
5	7.4	31.8	0.7	12.8
10	7.4	32.1	0.8	13.0
15	7.2	33.2	1.9	13.0
20	6.3	33.4	2.0	11.5

本データの利用については、東北大学マリンサイエンス復興支援室

Tel.: 022-717-8827

Fax: 022-717-8828

E-mail:

agr-marin@bureau.tohoku.ac.jp

までお問い合わせください。